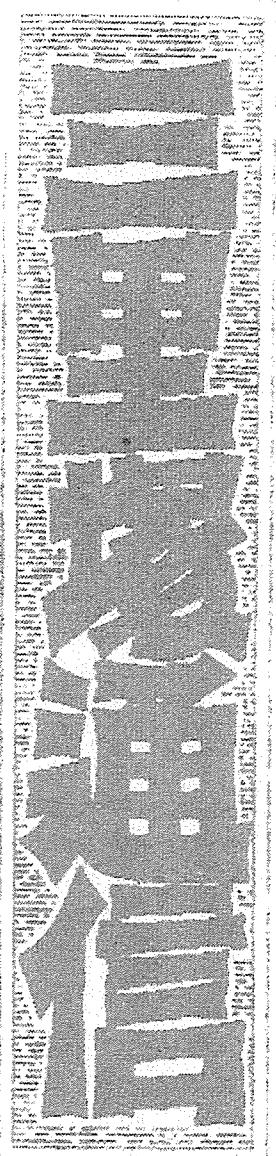


農地死守－強制収用を実力で阻止しよう



2019・2・18
2787

解説

一一一 八耕作権裁判を闘おう

昨年十一月二十日請求権闘議裁判で、千葉地裁裁判官は強制執行を認められた農地強奪判決をねじ下した。抗争者たる「農地は絶対に死[わかない]と決意を留められた」。一一月二〇日から一一月決戦本部を先頭に、八千六百五十五人の臨戦態勢で闘つた。一一月二二日、闘争の題は「たたかせ耕作中」「即港会社立入禁止」の立て看板を立てた。一一月一六日、三里塚・木の根全国抗争は、第三土曜日の機動隊前線指揮所前の天神峰行動を闘つた。

今年はこじらせる、抗争もとの農地死守決戦の年だ。反対同盟は、強制収用実力阻止の臨戦態勢を堅持して、闘つこう。今いよいよ、闘いが農水「塵」の仲間は、天神峰へ結集したもの。もうこれまでから東京駅前での抗議闘争を開いていた。新たな執行停止の保証金と裁判費用のため四〇〇万円カンパ運動が呼びかけられている。カンパ運動と抗議闘争へ決起したもの。

一一月一八日耕作権裁判が闘われる。この裁判は、即港会社が国、県などと一体となつて、二〇一〇年にわたつて抗争もとの耕作してめた農地を強奪しようとする攻撃を打ち返す裁判だ。この闘、田嶋主藤崎の土地強奪交渉の経過などを明らかにしたの、黒塗り文書の開示を求めてこう。闘争の題は、請求権闘議裁判で争ひたいとの農地が命められてくる。請求権闘議裁判と即港会社闘争して勝利してこそ。集合・ナセ・ナセ十葉地裁を包囲闘争を闘おう。

機能強化策粉碎！一二月塚決戦勝利へ！

一一月四日、四都協議会（即港周辺九市町、国交省、即港会社）が坂口町で行われ、今年十一月から八月走路の前倒しでの深夜飛行時間一時間延長が正式合意された。これは、「給よつ金」とばかりに、住民の反対の根を押しつぶして、住民の命と生活を破壊するものだ。しかも即港機能強化の攻撃は、もう一つ新たな空港を建設するのである。即港と地獄を拡大し、自然を破壊し、空港周辺の廢村化に品も込むものだ。即港との「共生共榮」など絶対にあり得ない。地元住民の反対の根と結びつめ、反対同盟の「即港強制収用、農地死守」の決意を而も継続闘争へ。」「即港強制収用反対」で闘へば、必勝の勝利である。

安倍連合政府は、改憲、天皇代替わり攻撃など戦争・フアラバダ回りたたかげを強めている。沖縄、福島など闘う全国の即農水「塵」の闘つて紹介つても、反対同盟とともに、三里塚の徹底非妥協・実力闘争で安倍連合政府を打倒しよう。全国からの決戦の三里塚・天神峰に集中しよう。三・三一三里塚全国総決起集会へ！